

第128期（2024年3月期） 定時株主総会

2024年6月25日
グンゼ株式会社

第128期定時株主総会

議事次第（開始時刻：午後1時）

報告事項

1. 第128期(2023年4月1日から2024年3月31日まで)
事業報告、連結計算書類及び計算書類の内容報告の件
2. 会計監査人及び監査役会の
第128期(2023年4月1日から2024年3月31日まで)
連結計算書類監査結果報告の件

決議事項

- 第1号議案 剰余金の処分の件
第2号議案 取締役9名選任の件

第128期定時株主総会 報告事項



I

事業の経過及びその成果

I -1. 第128期（2023年度） 連結業績

(単位：億円 単位未満切捨て)

	第128期 (2023年度)	第127期 (2022年度)	対前期		利益率(%)	
			増減額	増減率 (%)	第128期 (2023年度)	第127期 (2022年度)
売上高	1,328	1,360	△31	△ 2.3	—	—
営業利益	67	58	9	16.6	5.1	4.3
経常利益	67	60	7	12.5	5.1	4.4
親会社株主に帰属する 当期純利益	51	45	6	13.5	3.8	3.3

第128期定時株主総会 報告事項

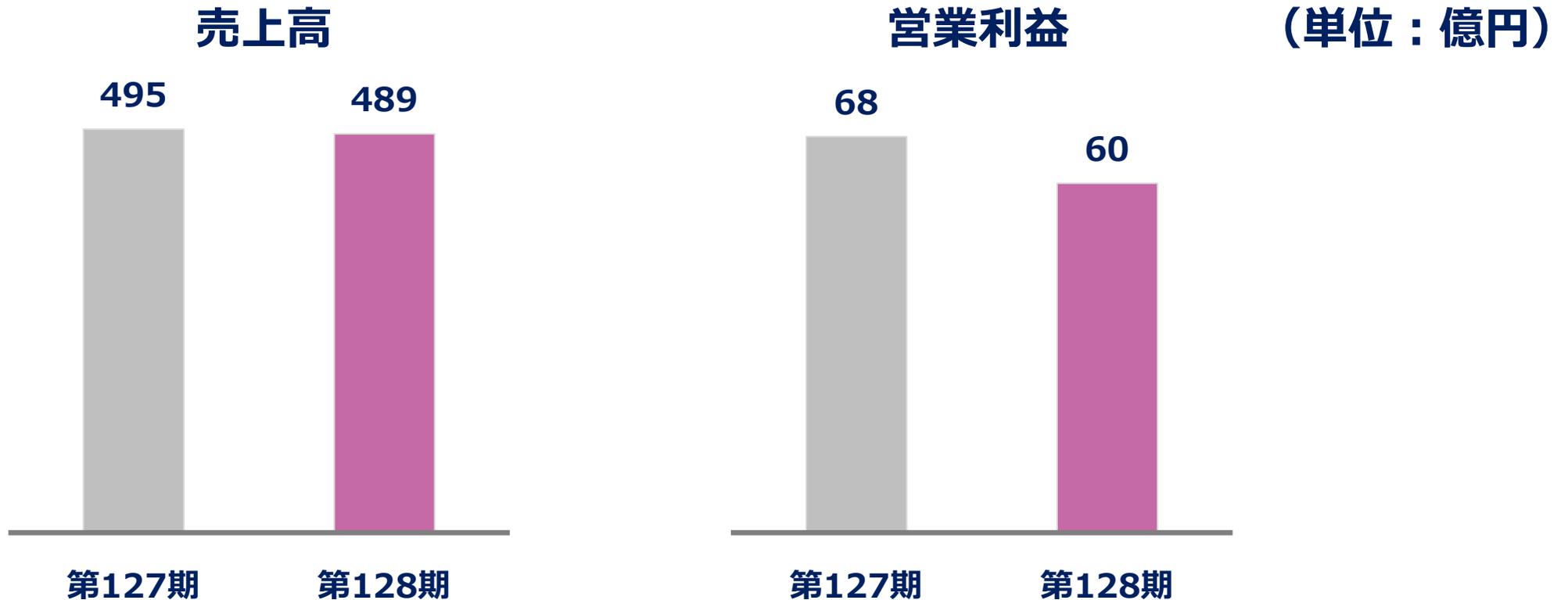


II

事業セグメント別の概況

Ⅱ-1. 機能ソリューション事業

売上高 : 489億円 (前期比 1.2%減)
営業利益 : 60億円 (前期比 11.8%減)



Ⅱ-2. 機能ソリューション事業 1 (プラスチック)

米国の包装用フィルムは堅調に推移したが、国内・アジアは需要停滞の影響を受ける

収縮ラベル用フィルム



飲料用途(ホット)は暖冬、食品/トイレタリー用途は製品値上による消費低迷の影響を受け販売数量は減少



リサイクル原料を利用した最軽量ハイブリット収縮フィルム「HCX1」を上市

包装用フィルム



国内では耐ピンホール対応の食品関係や薄膜新商品が堅調に推移するも包材面積(フィルム使用量)縮小による影響を受け苦戦

II-3. 機能ソリューション事業2 (エンジニアリングプラスチック)

OA機器向けが停滞するも、半導体及び一般産業向けは堅調に推移

OA市場向け製品



プリンター市場低迷の影響を受け苦戦

非OA市場向け製品



半導体向け製品は市況停滞の中でも安定的に出荷
産業用途向け製品は新規案件獲得を含め堅調に推移

Ⅱ-4. 機能ソリューション事業 3 (電子部品)

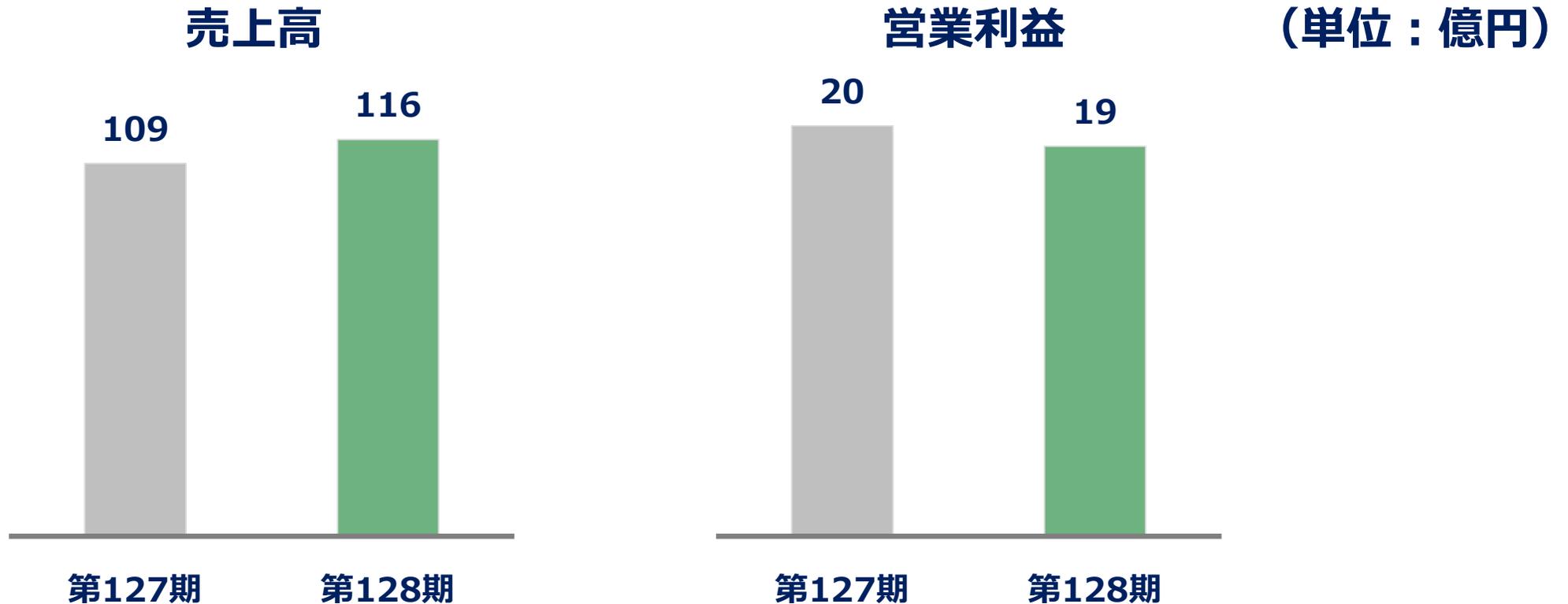
タッチパネル事業が中国経済の停滞及びPC市場低迷の影響を受ける

静電容量タッチパネル (PCAP) 組込型モニター



Ⅱ-5. メディカル事業

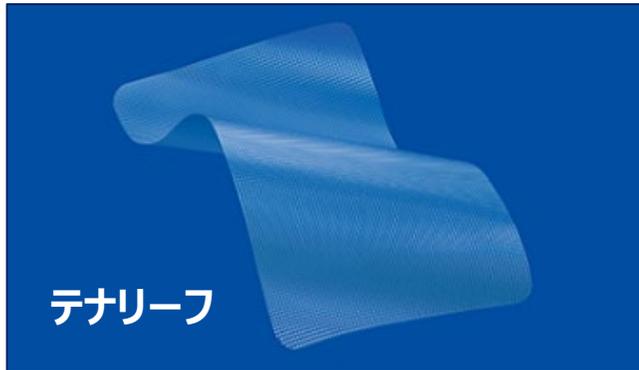
売上高	:	116億円	(前期比	6.8%増)
営業利益	:	19億円	(前期比	4.4%減)



Ⅱ-6. メディカル事業

- 主力の国内医療用途市場の回復に伴い癒着防止材等の新製品の市場浸透が進む
- 中国では新たな代理店との取り組み強化により、生体吸収性製品が伸長
- コロナ後の美容医療機関の開院減少等により、医療用レーザーの受注が減少

癒着防止材



屈曲特性や貼り直しなど、
機能性が評価され好調に
推移

吸水性組織補強材/人工皮膚

ネオバール



市況/手術件数
回復により堅調に
推移

ペルナック



形成・創傷(そうしょう)
領域に加え、
救急領域での採用が
進み伸長

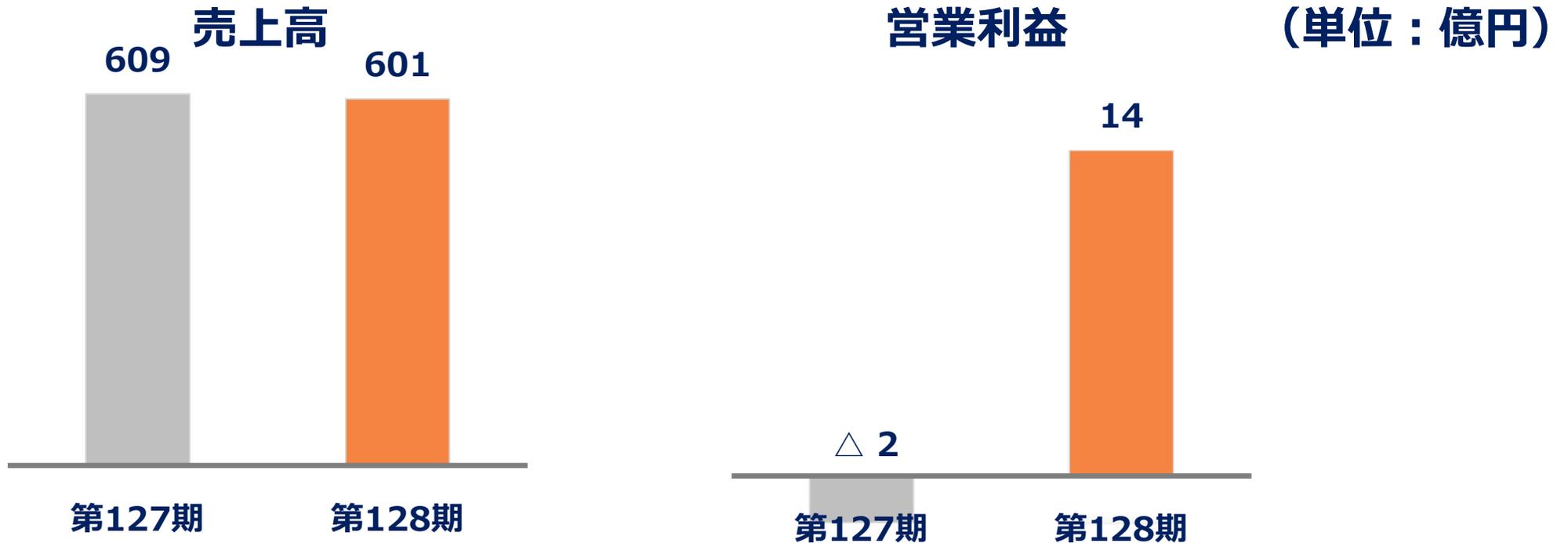
医療用レーザー



市況悪化により苦戦

Ⅱ-7. アパレル事業

売上高 : 601億円 (前期比 1.4%減)
 営業利益 : 14億円 (前期 営業損失2億円)



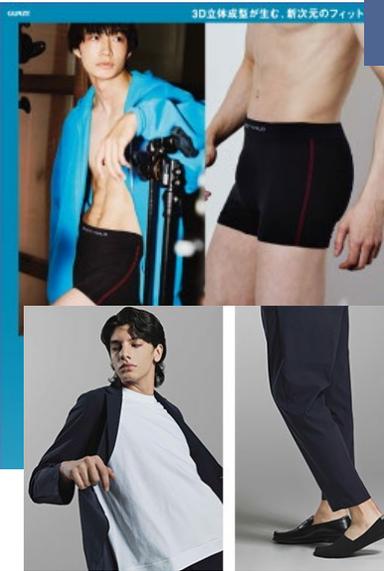
- 残暑や暖冬影響によりシーズン商品は苦戦
- 差異化訴求した年間商品は好調に推移、高付加価値化を含めた価格改定及び事業構造改革により収益性改善
- 強化を進めるEC・直営店ルートが伸長、DtoCシフト成長戦略継続

Ⅱ-8. アパレル事業1 (インナーウェア)

顧客ニーズに対応した付加価値商品が好調に推移

メンズ

BODYWILD



アウター展開を含む
トータルアパレル
ブランドに変革

YG



Tシャツ専用インナー
「in・T」はECルート
中心にデビュー以来堅調

レディス

KIREILABO



「Fitte」シリーズが
モールドカップ付き
商品を中心に伸長

Tuché (トゥシェ)



ブラジャーのラインアップ
を拡充し、ノンワイヤー
中心に堅調

II-9. アパレル事業2 (レッグウエア)

主力商品「SABRINA (サブリーナ)」のリニューアル効果により、ストッキング、タイツが好調に推移

ストッキング・ボトム



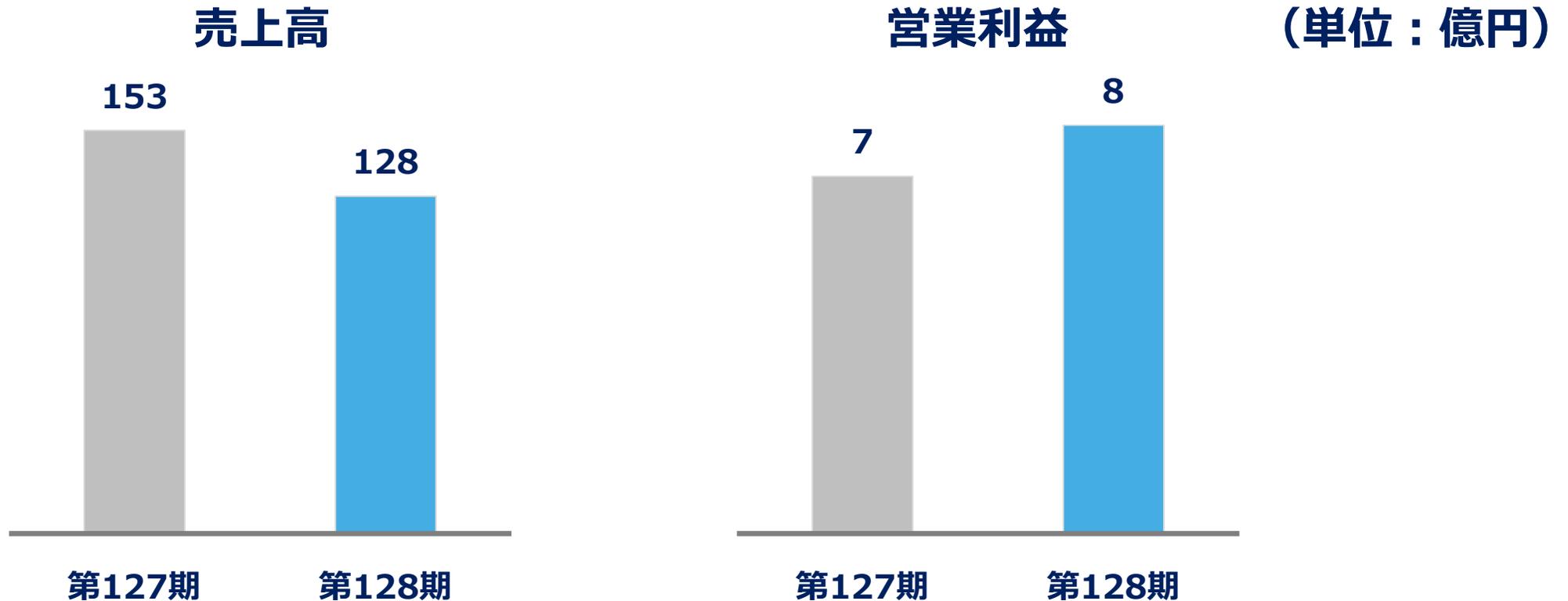
静電ナイロンを使用し
衣服のまとわりつきを軽減



DtoC (直販) ルートで
アウターアイテムの展開拡大
ライフスタイルカテゴリー商品を拡販

Ⅱ-10. ライフクリエイト事業

売上高 : 128億円 (前期比 16.3%減)
営業利益 : 8億円 (前期比 18.1%増)



Ⅱ-11. ライフクリエイイト事業

- 不動産関連は前期の遊休地再開発プロジェクト売上影響により減収
- 人流の回復によりショッピングセンターとスポーツクラブはともに回復傾向

不動産



【前期】遊休地再開発により
完成した公共複合施設
(山形県長井市)

ショッピングセンター



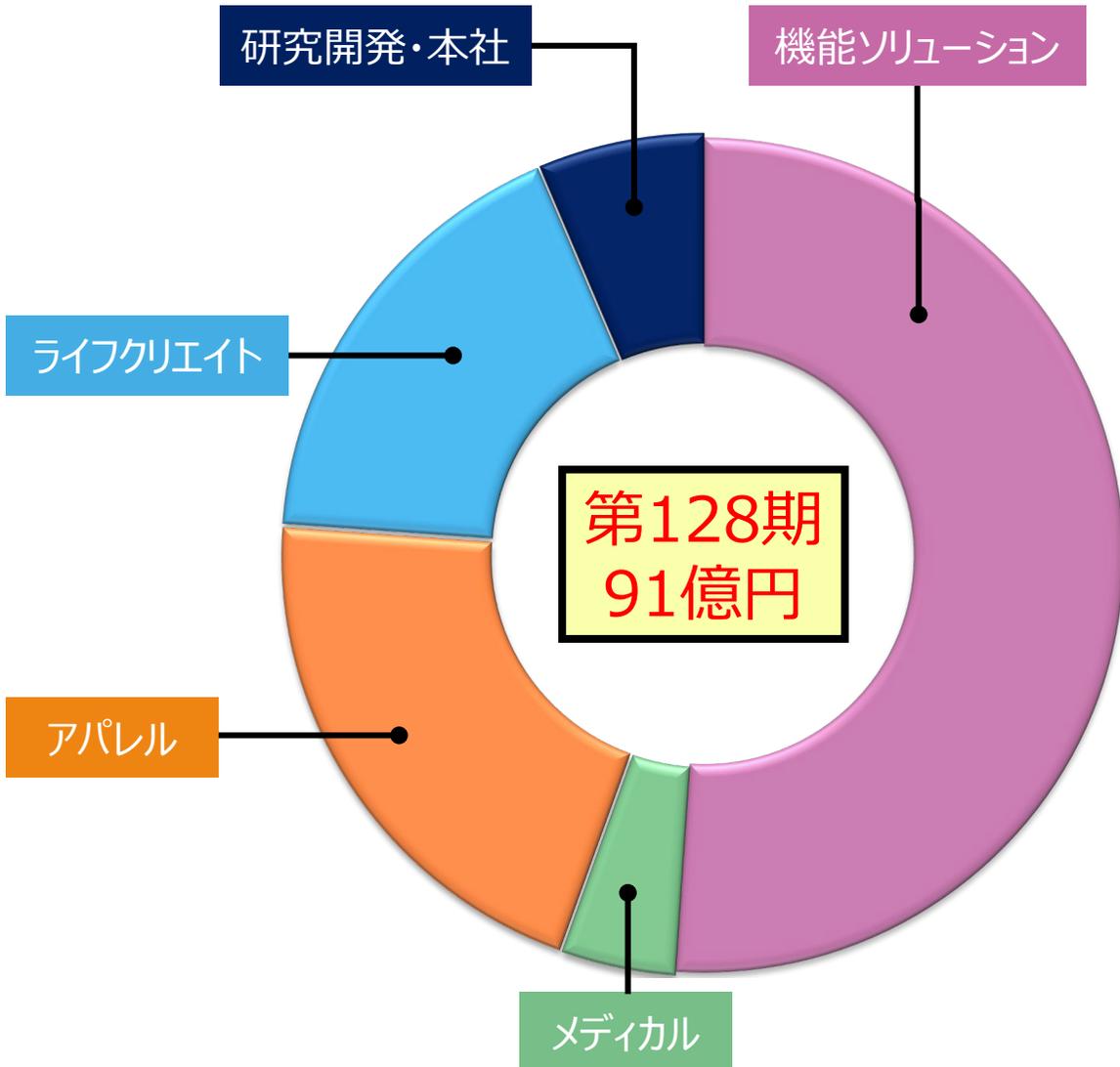
段階的にリニューアル中のつかしん
(兵庫県尼崎市)

スポーツクラブ



需要の高いジュニアスイミングスクール拡大
(人的資源の有効活用、施設整備)

Ⅱ-12. 設備投資の状況



機能ソリューション事業 46億円

- プラスチック分野でのフィルム製造装置
- エンプラ分野での工場拡張工事 等

医療事業 4億円

アパレル事業 18億円

- 業種統合による共有 S C Mプラットフォーム開発
- インナーウェアの自動化ライン関連装置 等

ライフクリエイト事業 15億円

- 「つかしん」リニューアル 等

研究開発・本社部門 5億円

第128期定時株主総会 報告事項



Ⅲ

Ⅳ

連結計算書類

Ⅲ-1. 連結貸借対照表 1 (資産の部)

(単位：億円 単位未満切捨て)

科目		第128期 (2023年度)	第127期 (2022年度)	増減
資産の部	流動資産	807	835	△27
	固定資産	811	823	△11
	有形固定資産	635	631	4
	無形固定資産	19	14	4
	投資その他の資産	156	177	△21
資産合計		1,619	1,659	△39

流動資産 (前期比)	
未収入金等 (その他の流動資産)	△16
原材料及び貯蔵品	△10
有形固定資産 (前期比)	
機械装置及び運搬具 (純額)	32
建設仮勘定 (有形)	△22
投資その他の資産 (前期比)	
投資有価証券	△48
繰延税金資産	21

Ⅲ-2. 連結貸借対照表 2 (負債の部、純資産の部)

(単位：億円 単位未満切捨て)

科目		第128期 (2023年度)	第127期 (2022年度)	増減
負債の部	流動負債	248	300	△51
	固定負債	166	181	△15
	負債合計	415	482	△67
純資産の部	資本金	260	260	-
	資本剰余金	65	65	△0
	利益剰余金	815	789	26
	自己株式	△29	△10	△19
	その他の包括利益 累計額合計	74	51	22
	新株予約権・ 非支配株主持分	18	19	△1
	純資産合計	1,204	1,176	27
負債及び純資産合計		1,619	1,659	△39

負債合計 (前期比)	
長短借入金	△62
事業構造改善引当金	17
支払手形及び買掛金	△17
純資産合計	
親会社株主に帰属する当期純利益	51
配当金の支払(127期)	△25
自己株式の取得等	△20
為替換算調整勘定の増加	11

Ⅲ-3. 連結損益計算書

(単位：億円 単位未満切捨て)

科目	第128期 (2023年度)	第127期 (2022年度)	増減
売上高	1,328	1,360	△31
売上総利益	417	404	12
販管費	349	346	2
営業利益	67	58	9
営業外損益	△0	2	△2
経常利益	67	60	7
特別損益	△22	3	△26
税引前当期純利益	45	63	△18
法人税等	△6	18	△25
非支配株主に帰属する 当期純利益	0	0	0
親会社株主に帰属する 当期純利益	51	45	6

営業外損益		
128期	為替差損	△0
127期	受取配当金	4
	操業休止関連費用	△1
特別損益		
128期	事業構造改善費用	△28
	投資有価証券売却益	20
	取水量過少申告解決金	△5
	固定資産除売却損	△5
127期	関係会社株式評価損	△5
	投資有価証券売却益	5
	事業構造改善費用	△3
	固定資産除売却損益	2
	新型コロナウイルス感染症による損失	△1

Ⅲ-4. 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：億円 単位未満切捨て)

	第128期 (2023年度)	第127期 (2022年度)	増減
営業活動	104	17	86
投資活動	△1	△59	57
フリー キャッシュフロー	102	△41	143
財務活動	△113	10	△123
現金及び 現金同等物 期末残高	108	115	△7

主な営業キャッシュフロー	
税金等調整前当期純利益	45
減価償却費	61
主な投資キャッシュフロー	
投資有価証券の売却	70
固定資産の取得	△71
主な財務キャッシュフロー	
配当金の支払	△24
自己株式の取得	△20
長短借入金の減少	△66

Ⅲ-5. 連結主要財務・経営指標

	単位	第128期 (2023年度)	第127期 (2022年度)	増減
ROA：総資産営業利益率	%	4.1	3.6	0.5
ROE：自己資本利益率	%	4.4	3.9	0.5
総資産	億円	1,619	1,659	△39
自己資本	億円	1,186	1,157	28
自己資本比率	%	73.2	69.8	3.4
有利子負債額	億円	90	154	△64
BPS：1株当たり純資産	円	7,112	6,789	322

ROA : 営業利益 ÷ 総資産

ROE : 当期純利益 ÷ 自己資本

第128期定時株主総会 報告事項



IV

中長期的なグループの経営戦略と
対処すべき課題

IV- 1. 中期経営計画 「VISION2030 stage 1」

VISION
2030

新しい価値を創造し
「こころよさ」を提供することで
持続可能な社会の実現に貢献します

変革と挑戦

「経済的利益」と「社会的利益」を
両立させるサステナブル経営により
社会貢献と当社グループの
持続的成長を実現

SDGs
(国際目標)
SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す

IV-2.「VISION2030 stage 1」基本戦略

	<p>新たな価値の創出</p>	<ul style="list-style-type: none"> 新規事業の創出と既存事業の成長 (M&A含む) サステナビリティを追求した新商品、新サービスの提供
	<p>資本コスト重視の経営</p>	<ul style="list-style-type: none"> 経営資源の戦略的配分 資本効率の追求によるGVA黒字化
	<p>企業体質の進化</p>	<ul style="list-style-type: none"> 多様な人財が活躍する風土づくり 働き方改革による意識・業務改革の推進 デジタルの積極活用によるプロセス変革 (生産、販売、開発、物流、間接等すべて)
	<p>環境に配慮した経営</p>	<ul style="list-style-type: none"> 事業活動における環境負荷の低減

Stage1	2022年
	2023年
	2024年
Stage2	2025年
	2026年
	2027年
Stage3	2028年
	2029年
	2030年

IV-3. 「VISION2030 stage 1」 経営目標(財務目標)

VISION2030 stage1 グループ経営目標

売上高

1,400億円

営業利益

100億円

GVA : Gunze Value Added
(経済的付加価値指標)

黒字化

ROE (自己資本利益率)

重点指標

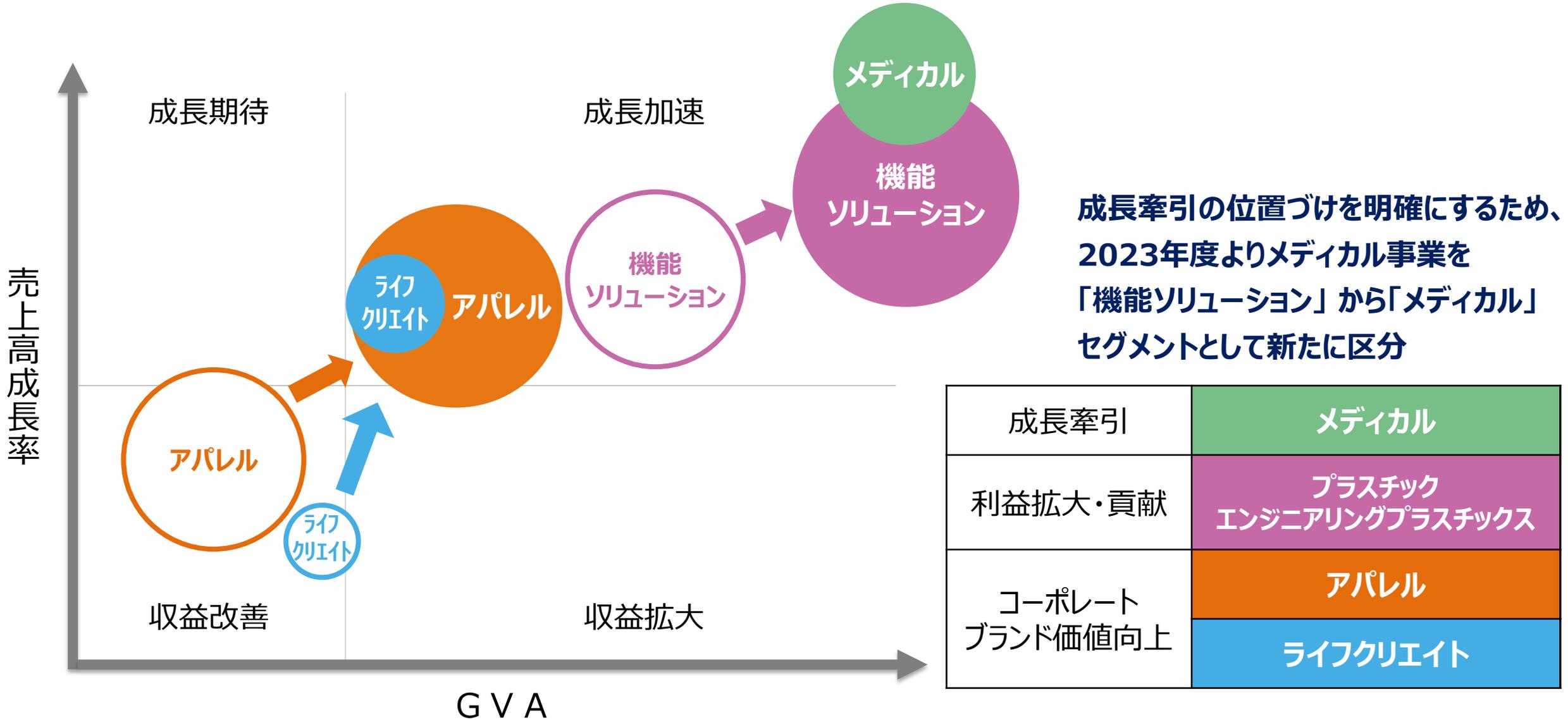
6.32%以上

GVA黒字事業はROIC (投下資本収益率) による目標値を設定し、
事業運営における意識づけを強化

IV-4.「VISION2030 stage 1」経営目標（非財務目標）

区分	目標指標		2024年度目標	2030年度目標
環境対応	CO2排出量 削減率 (2013年度対比、Scope1 + 2)		28% 以上	35% 以上
	エネルギー原単位 削減率 (対前年)		1% / 年 以上	
企業体質 の進化	女性活躍推進	女性管理職比率	6% 以上	20% 以上
		女性社員比率	35%	41%
		女性総合職採用比率	50%	50%
	子育て支援	男性育児休職取得率	50%	70%
	組織風土づくり	エンゲージメントスコア	70点想定	80点想定
	働き方改革	年休取得率	75%	100%
その他	生産性向上率 (P 値※) ※ 当社オリジナルの生産性対前年向上指標		103%	103%

IV-5. 事業セグメントの役割と位置づけ



IV-6. 事業セグメント別戦略課題 1 (機能ソリューション)

プラスチック

守山工場サーキュラーファクトリー



- 環境対応型新商品の積極投入
- サーキュラーファクトリーの本格稼働とリサイクルセンターの設置によるリサイクル技術革新
- 米国、中国およびアセアンを中心とした海外拡販強化

エンジニアリングプラスチック

江南工場拡張



建設予定地と完成イメージ図



- OA向け製品のシェア拡大
- 医療・半導体分野の需要増に対応するための江南工場拡張

IV-7. 事業セグメント別戦略課題 1 (機能ソリューション)

経営資源の戦略的配分推進 (事業構造改革)

電子部品

連結子会社の株式 (85.1%) 及び
日本と米国のタッチパネル事業の商権を
2024年10月1日 (予定) に譲渡



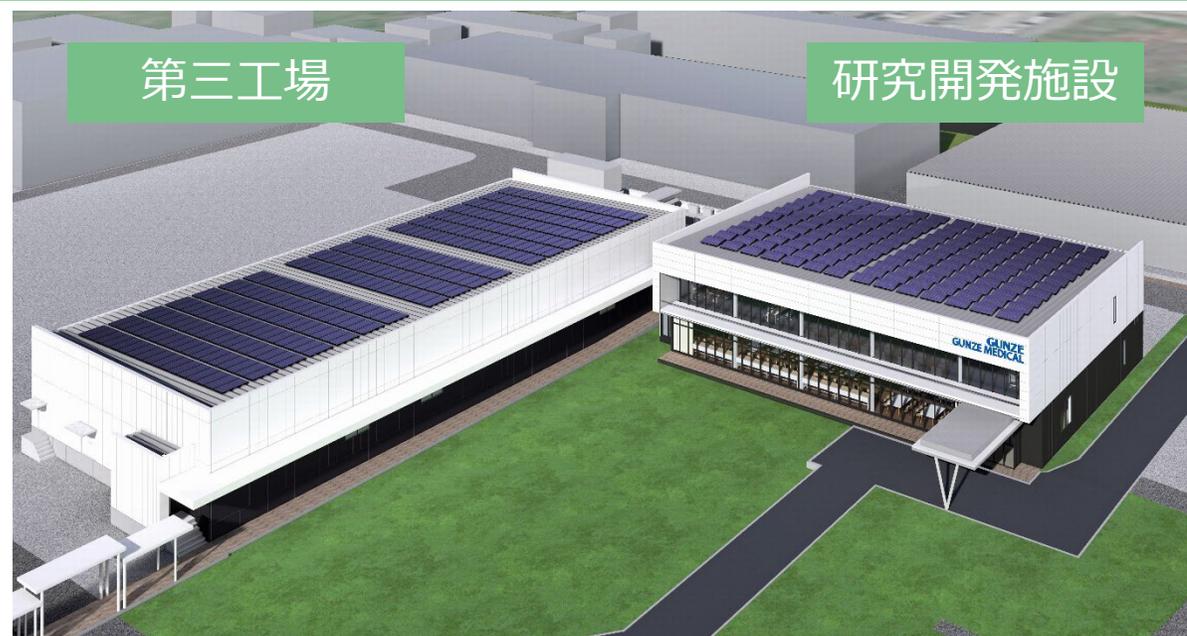
メカトロ

事業譲渡に向けた交渉を開始
(2024年3月)



IV-8. 事業セグメント別戦略課題 2 (メディカル)

綾部工場新棟(完成イメージ図)

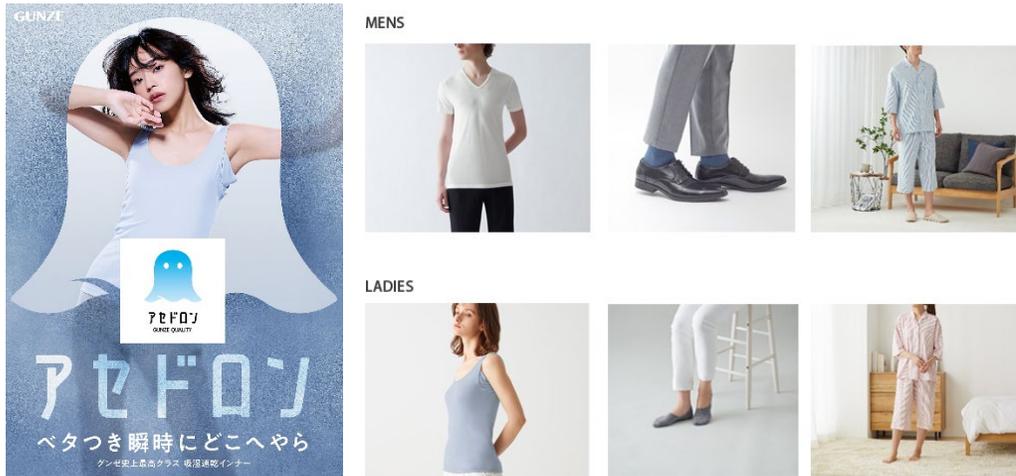


- 綾部工場敷地内に新工場建設
- 開発力強化のための研究開発施設増強
- 米国・中国の販売強化・継続的な新商品開発による事業拡大

IV-9. 事業セグメント別戦略課題3 (アパレル販売)

- 競争力向上を目的とした業種横断型の組織再編
- 消費行動変化に伴い伸長しているECチャネルや、直営店舗のDtoC (直販)ルートでの更なる拡販
- 他社とのコラボレーション推進

業種横断



汗によるベタつき、ジメジメなどの不快感を瞬時に消し去るファンクションブランド「アセドロン」
インナーウェアに加えソックス、パジャマもラインナップ

ライフスタイル分野拡大・レディース拡販



Tuché (トゥシェ)
7Days

アパレルトータルブランドの強みを活かした
アウターとインナーのコーディネート提案

Oyobi (オヨビ)

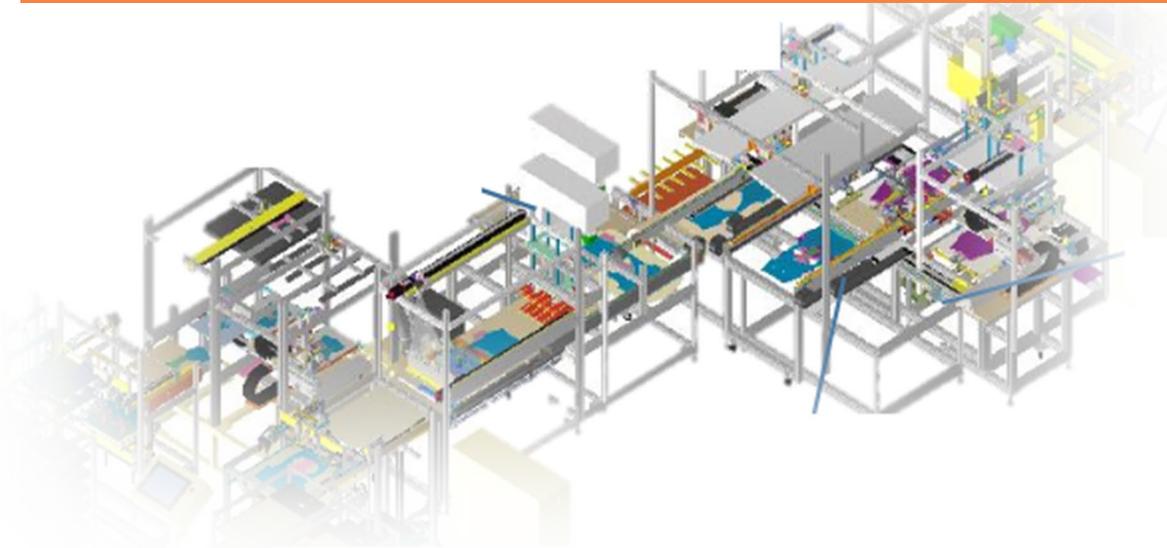


デジタルネイティブ世代を
コアターゲットとした
新会社「SEESAY(シセイ)」
を設立
D2Cライフスタイルブランド
「Oyobi」を展開

IV-10. 事業セグメント別戦略課題 3 (アパレル生産・物流)

- オートメーション化とグローバル最適生産体制の構築によるコスト競争力の強化
- 「物流2024年問題」への対応

(国内) オートメーション化推進



レディスインナー差異化商品（接着商品）の
拡販を支える生産基盤の無人化（スマートライン）を
段階的に構築

(アセアン) 成長商品生産基盤構築

成長商品（カットオフ、スーパーストレッチ）
生産基盤構築による稼働率向上

物流2024年問題

効率化（ロットまとめ、輸送量の標準化）
による事業への影響の極小化

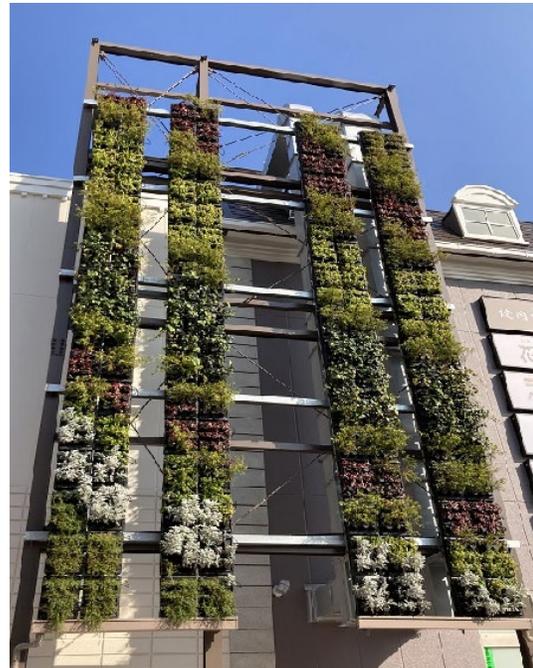
IV-11. 事業セグメント別戦略課題 4 (ライフクリエイト)

不動産



- 商業施設の収益力向上の推進
- 投資効率を重視した物件別管理の強化

グリーン



- 大阪・関西万博等への緑化需要の取り込み
- CO2排出量削減に向けた環境事業への積極的な取り組み

スポーツ



- 不採算店舗の閉鎖
- スクール事業の拡大と地域・店舗特性に合わせた特長のあるサービスの提供と新業態の開発

IV-12. 第129期（2024年度）連結業績予想

（単位：億円 単位未満切捨て）

	第129期 (2024年度)		第128期 (2023年度)		対前期	
	業績予想	利益率(%)	実績	利益率(%)	増減	増減率(%)
売上高	1,400	—	1,328	—	71	5.4
営業利益	90	6.4	67	5.1	22	32.8
経常利益	90	6.4	67	5.1	22	32.9
親会社株主に帰属する 当期純利益	75	5.4	51	3.8	23	46.8

第129期（2024年度）配当は、当期より4円増配し、1株当たり157円を予定しております

温浴施設取水量過少申告に関する対応

2024年1月24日に「温浴施設取水量過少申告に関するお知らせ」を公表し、同年1月末に伊丹市・尼崎市（兵庫県）に対し、2004年～2023年の期間に係る5億5,200万円の未払下水道料等を納付しました。

本件公表後、調査チームを立上げ、2004年の温浴事業開始時の関連文書の収集、及び関係者（当社従業員、関係業者）への聞き取り調査を実施しました。

<p>調査結果と原因</p>	<ul style="list-style-type: none"> 当該施設の保守点検のため掘削した際に、迂回配管が地中埋設されていることを発見 20年前の工事ということもあり、施工業者を特定できる明確な証言、証拠等は得られず 調査結果から当時の当社従業員や施工業者が何等かの形で関与したと推定せざるを得ないと判断 知見のない事業への参入のため業者に全面的に委ねる形となり、当事者として適切なチェックや対応を怠り、結果として長期に放置することにつながった グンゼグループの経営を監督する経営陣のチェック、及びガバナンス体制が不十分
<p>再発防止策</p>	<ol style="list-style-type: none"> ① 建設工事に関する本社技術開発部での契約書・図面チェックの徹底 ② 部門長教育、構成員研修の実施 ③ 各部門リスクについて年一回の自主チェックと機能部門によるモニタリング実施 ④ コンプライアンス監査の継続 ⑤ トップによる全従業員へのメッセージ発信
<p>経営責任</p>	<p>代表取締役2名（会長・社長）の月額報酬（2024年5月～6月）を20%減額</p>

関係者の皆さまにはご迷惑、ご心配をおかけしましたことを、改めて深くお詫び申し上げます。